

平成二十一年四月二十七日提出
質問第三四六号

中央省庁のあつせんによる国家公務員の再就職に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

中央省庁のあつせんによる国家公務員の再就職に関する質問主意書

本年四月二十四日、総務省は中央省庁のあつせんによる国家公務員の再就職（以下、「天下り」という。）の状況に係る調査結果（以下、「調査結果」という。）を発表した。右を踏まえ、質問する。

一 「調査結果」によると、二〇〇六年から二〇〇八年の三年間に渡る「天下り」は、合計千九百一件あり、件数の多い省庁から順に国土交通省の七百七十九件、経済産業省の二百三十二件、農林水産省の二百件であったとのことであるが、右三省以外の他の全ての省庁における「天下り」件数も含め、そのうち国家公務員上級職またはI種試験を合格した、いわゆるキャリア職員によるものは何件あったのか、省庁ごとに全て明らかにされたい。

二 一のいわゆるキャリア職員による「天下り」の再就職先はどこか、全て明らかにされたい。

三 「調査結果」によると、「天下り」を繰り返す「渡り」は二十九件あったとのことであるが、右二十九件の「渡り」につき、そのあつせんを受けた者の省庁退職前の官職、キャリア職員またはノンキャリア職員との「渡り」につき、そのあつせんを受けた者の省庁退職前の官職、キャリア職員またはノンキャリア職員との区別、再就職先、再就職先での退職金支払いの有無並びにその金額等、詳細を明らかにされたい。

四 「調査結果」にある「天下り」並びに三の「渡り」の現状は、昨年来の世界金融危機に端を発した不況

により、国民の多くが苦しい生活を余儀なくされていることを鑑みる時、果たして適切であったか。政府の見解如何。

右質問する。